山梨県立文学館

令和２年度　年間文学講座

趣旨	山梨県ゆかりの文学や古典・近現代文学について、第一線で活躍する研究者や当館職員がわかりやすく解説します。
受講料	無料
定員と会場	講座1,2,3すべて**50名。**（要申込。いずれも先着で、定員になり次第締切となります。） 会場は文学館講堂です。
資料	全講座、当館で用意いたします。（お渡しは1人1部のみ）
その他	本講座はキャンパスネットやまなし及びことぶき勧学院連携講座です。 開催を延期（または中止）する場合があります。来館前に当館ホームページで確認いただくか、当館まで連絡をお願いします。
申込	今年度は各講座ごとに申込をしていただきます。各講座の**開催日2週間前から前日までの間**に、**電話のみの申込**でお願いします。

問い合わせ先　山梨県立文学館　　甲府市貢川1-5-35　　TEL 055-235-8080

講座	講師		日程とテーマ		申込開始日
講座1(全5回) 古典文学入門 都留文科大学教授4名によるリレー講座 14:00-15:30 文学館講堂	佐藤明浩	1	8/28（金）	『徒然草』と作者兼好法師をめぐって	8/14(金)
	加藤浩司	2	9/25（金）	音読してみる平安文学のカタチ	9/11(金)
	寺門日出男	3	10/23（金）	曹操と漢詩	10/9(金)
	鈴木武晴	4	11/27（金）	上代文学と絵本①	11/13(金)
		5	12/18（金）	上代文学と絵本②	12/4(金)
講座2(全5回) 作家たちの一癖ある名作 ～幻想を描く、現実を描く～ 14:00-15:30 文学館講堂	大木志門 東海大学文学部教授	1	8/ 8（土）	夏目漱石「琴のそら音」－幻想作家時代の漱石	7/25(土)
		2	9/12（土）	泉鏡花「外科室」－愛と生と死と	8/29(土)
		3	10/17（土）	林真理子「女文士」―評伝文学の魅力	10/3(土)
		4	11/ 7（土）	三島由起夫「金閣寺」と水上勉「金閣炎上」-事件を加工する方法	10/24(土)
		5	12/12（土）	井伏鱒二「黒い雨」―書き得ないものを書く	11/28(土)
講座3(講堂) 14:00-15:10	当館学芸員 中野和子	1	9/22（火）	林真理子作品の女性たち	9/8(火)

※来館される時のお願い

・混雑緩和のため、文学館ホームページからチェックシートを印刷し、あらかじめ記入したものを持参いただきますよう、協力をお願いします。

・検温及びチェックシートの確認をしますので、講座開始30分前までにお越しください。

（受付は午後1時より行います。）

・入館時には、マスクの着用と入口での手指消毒をしてください。

・発熱や咳などの風邪症状、味覚障害など体調に不安のある方は、当日の来館をご遠慮いただいております。

講師紹介

講座1	佐藤明浩 さとうあきひろ	都留文科大学 教授	大阪大学大学院博士課程中退。大阪大学助手、名城大学助教授などを経て、現職。専門は、和歌文学・中世文学。著書に『院政期和歌文学の基層と周縁』(和泉書院 2020年2月)、論文に「『かげなびく』考 ―大臣在任を表す歌ことば―」(「詞林」62号　2017年10月)など。
	加藤浩司 かとうこうじ	都留文科大学 教授	名古屋大学大学院文学研究科博士(後期)課程満期退学。博士(文学)。専門は国語学(古代語)。信州大学助手、帝塚山学院大学専任講師・助教授・教授を経て現職。著書に『キ・ケリの研究』(和泉書院 1998年)、編著に『仮名貞観政要梵舜本の翻刻と研究』(和泉書院 2019年)。
	寺門日出男 てらかどひでお	都留文科大学 教授	大阪大学大学院博士前期課程修了。大阪大学助手、都留文科大学講師、同助教授を経て現職。専門は中国儒教思想史および日本近世儒学史。著書に『史記　十表上』、『史記　十表下』。『韓非子　悪の論理』(共著)、『懐徳堂事典』(共著)など。
	鈴木武晴 すずきたけはる	都留文科大学 教授	筑波大学大学院研究科修了。専門は上代文学とその享受史。歌や俳句の実作も行う。著書に『テーマ別万葉集』(おうふう、2001年)、『窪田空穂と万葉集―亡き母挽歌と富士関係歌―』(新典社、2011年)、『甲斐 万葉の歌譜』(山梨日日新聞社、2012年)、歌集『歌葡萄』(短歌新聞社、1996年)など。
講座2	大木志門 おおきしもん	東海大学 教授	立教大学大学院博士課程満期退学。博士(文学)。東海大学文学部教授。専門は日本近現代文学。著書に『徳田秋聲の昭和―更新される「自然主義」』(2016)、『谷崎と鏡花』(共編著、2017)、『〈私〉から考える文学史―私小説という視座』(共編著、2018)、『怪異を読む、書く』(共著、2018)他。